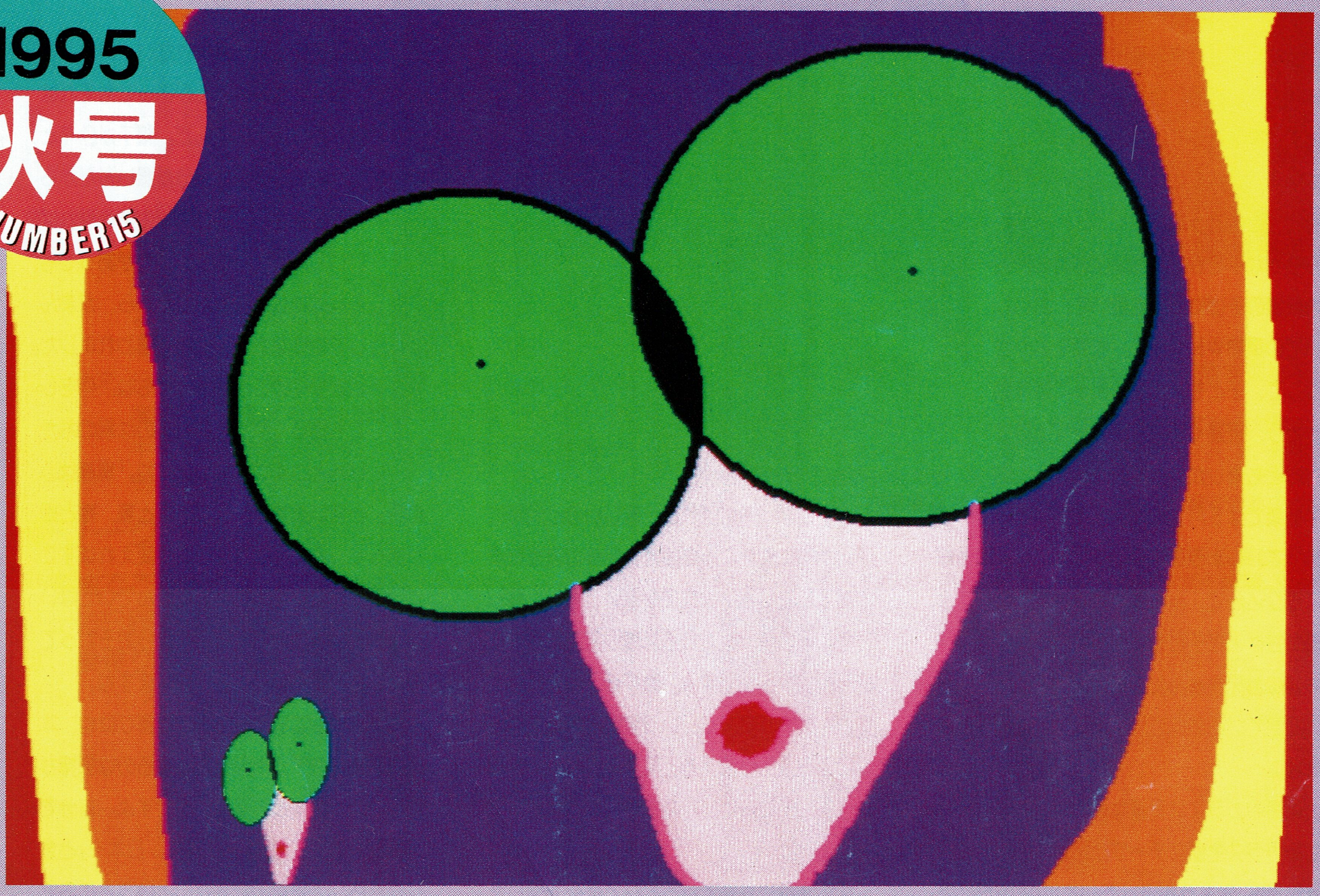
マルチメディアのNEC

NEC

先生とNECを結ぶ教育情報誌

# PCふれあい広場

1995 秋号 NUMBER15



特集 **校内ネットワーク活用**
**金沢市立三和小学校の事例を中心として** …… 3


ふれあいひろば …… 2
自分が求めてやることには10倍の力が出せる
道場六三郎さん

実践報告『スーパーYUKI』をつかって …… 8
「スーパーYUKI」で野原の草を学習
徳島県三好郡三加茂町立三庄小学校

98先生奮戦記 …… 10
平成2年度からコンピュータをフルに活用
東京都足立区立六月中学校

インターネットで横浜から世界へ発信
神奈川県横浜市立本町小学校

ちょっと拝見 …… 14
上水道総合管理システム
毎日利用する水にもコンピュータが活躍

ネットワークLANラン講座／15 …… 16

コンピュータ基礎講座 はじめの一歩／10 …… 17

学校だより …… 18
コンピュータの可能性に大いに期待
宮城県立西多賀養護学校高等部

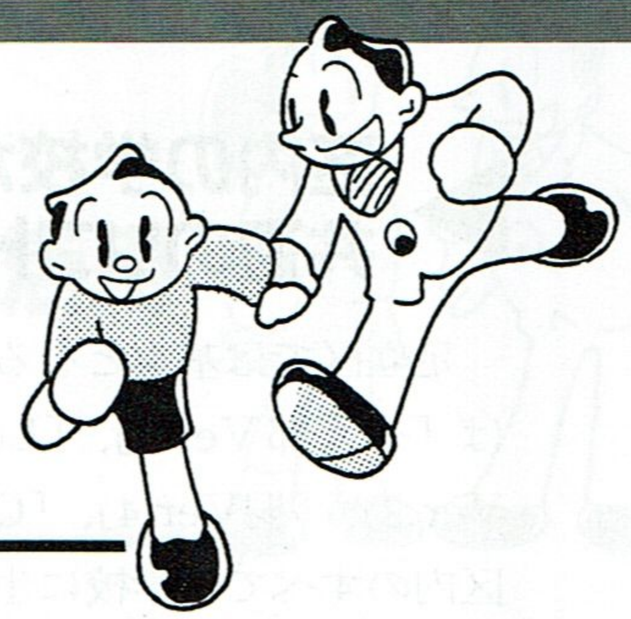
NECからのお知らせ …… 19


〈今月の表紙〉
NECマルチメディアアート大賞　ジュニア部門／優秀賞
「びっくりしているお母さん」當真 舞ちゃん（5歳）

98先生 奮戦記

# インターネットで横浜から世界へ発信

神奈川県横浜市立本町小学校



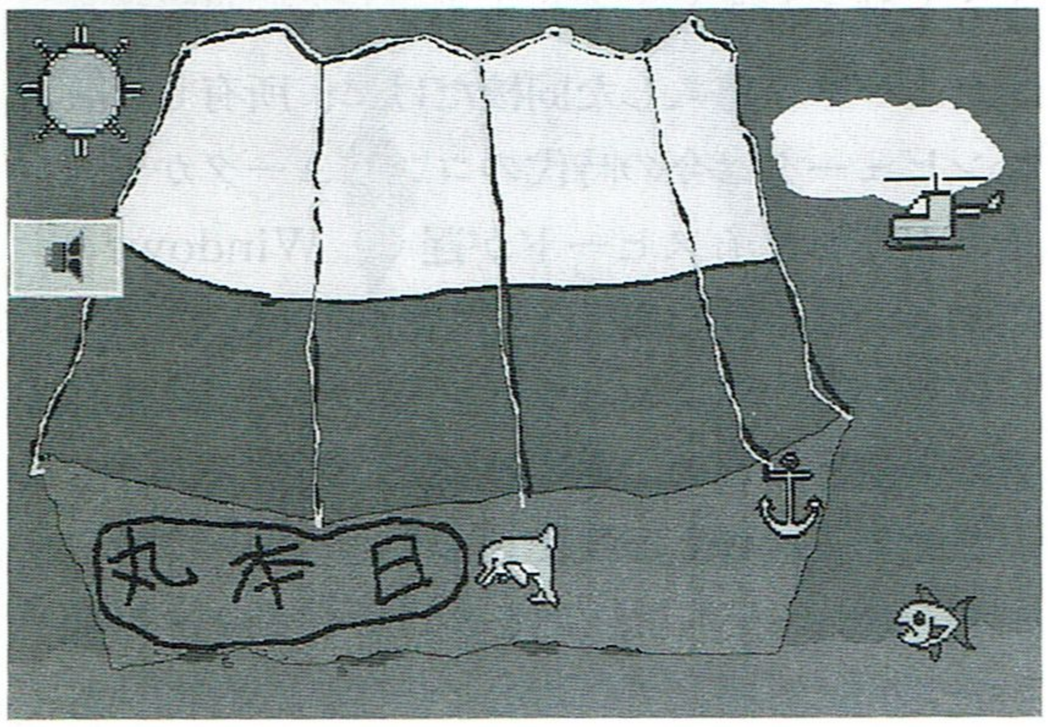
**前号で特集を行った「インターネット」を使って全国の学校と研究授業を始めようとしている横浜市立本町小学校を訪問しました。**

## オープン形式の校舎のあちこちにコンピュータ

同校を訪問する多くの方が校舎の形態に驚きます。ここでは玄関を入り、廊下を歩いているといつのまにか職員室にいることに気づきます。児童が学習している教室も同様で、どこからどこまでが何年何組かということははっきりしません。教室と教室の間の区切りや、廊下との間の壁はなく、学習をしている児童の様子が廊下からでも隣の教室からでもよくわかります。

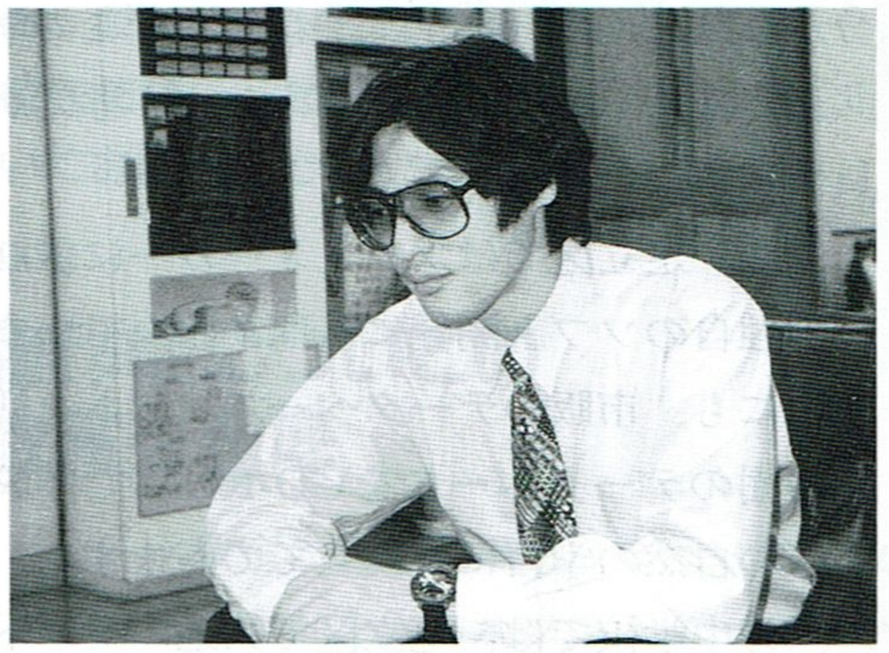


このオープンな環境の中のあちらこちらにコンピュータが設置されています。各教室にあたる部分に置かれているコンピュータもありますし、学習センターとして利用されている広い廊下部分に置かれているコンピュータもあります。特にコンピュータ教室として決められた場所はありません。




▲生徒の作品

ここでは授業中でも休み時間でも、児童がコンピュータを必要だと感じた時に利用できるようになっているのです。



▲出口和生先生

## パソコン通信を利用して

同校の出口和生先生は、本町小学校に赴任した平成2年度から授業でパソコン通信を活用してきました。パソコン通信の魅力は、知らない人や学校に対して、1対複数での通信ができることだと先生は考えています。

授業中に話題になったことや、わからなかったことをメールにしておくと、誰か詳しい人が答えてくれます。全国の方言を教えて欲しいと呼びかけたところ、日本各地から50通近い回答が寄せられたこともありました。

しかし、以前のパソコン通信では送信時間の関係などから文字だけの交流しか行っていませんでした。ですから、一度連絡がとれて交流が始まった場合は特にパソコン通信にこだわることなくFAXで情報の交換を行ったり、手紙や電話を活用したりもします。また、パソコン通信で何とか絵や音声を送ることはできないかと工夫をしたこともありました。

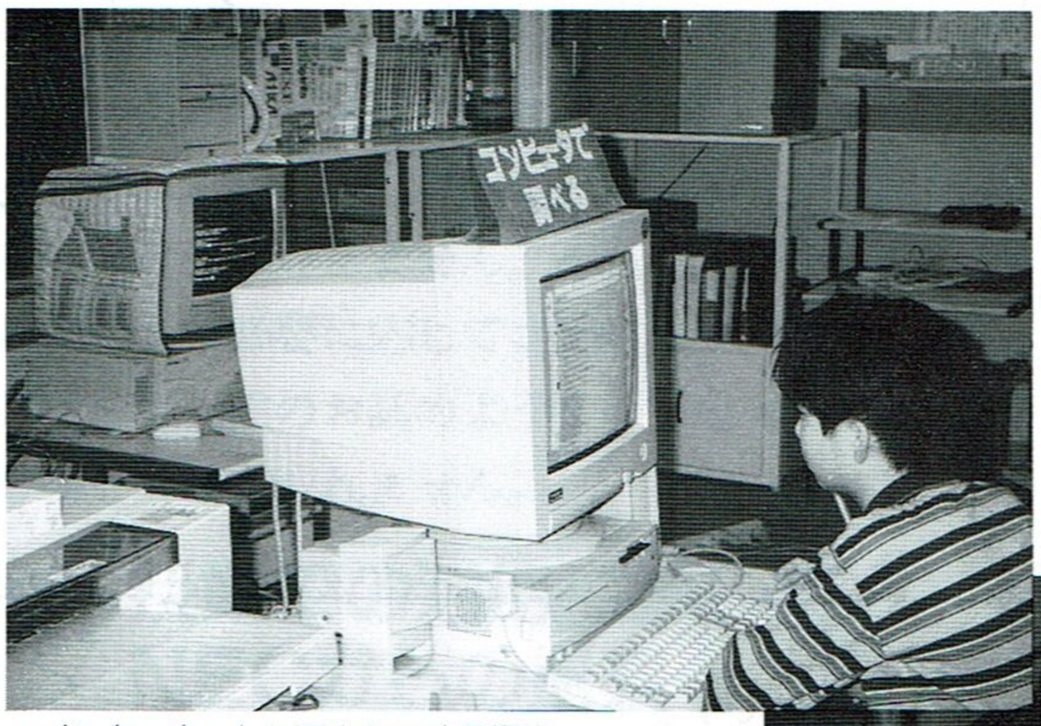
ですから、出口先生が絵や音声も送れるというインターネットの話を聞いた時に、ぜひとも授業で活用してみたいと考えたのは自然なことでした。

## 100校プロジェクトの1校として

通産省と文部省が協力して全国の小中高校など

を対象としてインターネットに接続する環境を提供する100校プロジェクトの１校として選ばれてから、コンピュータや回線などの準備が行なわれました。順調にインターネットにアクセスができるようになり、6月2日には無事にホームページ※を立ち上げました。

2学期からの本格的な稼働に向けて、横浜の町や学校の紹介を作ろうということで、4年生から6年生まで、37人のインターネットクラブの児童は、毎日はりきって15台のコンピュータに向かって、絵を描いたり、音声を録音したりしています。児童が使用しているコンピュータにはそれぞれ、自分の考えた「ランドマーク」「山下公園」「マリノス」「ベイブリッジ」「日本丸」などという横浜らしい愛称がつけられる予定です。


▲インターネットにアクセスする児童

「ランドマーク」という名前のコンピュータではランドマークタワーの絵が作成され、音声で説明が入れられています。児童はこれらの作品を毎朝早い時間に登校してきて30分間、あるいは放課後に30分間残って続きを…というようにコツコツと完成させていきます。

▲音声を録音する児童

## 他校との交流も

インターネットと接続するシステムが稼働する前に、100校プロジェクトに選ばれた他の学校と既に共同で研究が始められました。現在は既に接続されていますが、当時は回線がまだ接続されていませんでしたので、とりあえずは郵便を利用しての研究スタートとなりました。

宮崎大学附属小学校の提案で、全国の学校で5月2日に一斉にカボチャの種を蒔き、発芽の日や育ち方を観察して報告しあおうというのです。滋賀県大津市立平野小学校がかぼちゃの種を提供してくれました。黒板にはられた発芽マップの日本地図上で、参加している学校の場所にしるしがつけられていますので、全国のカボチャの発芽の時期の違いや発育過程などが手にとるようにわかるようになります。この研究の結果、児童がどんな発見をするかが楽しみです。

また、6年生はこれまでにパソコン通信でやっていたように、広島市鈴張小学校と詩や俳句を交換することを計画しています。今回は文字だけではなく、イメージ画の交換も行われる予定です。

## 英語の表示も慣れれば簡単

訪問した日には、インターネットクラブの6年の児童がひとり残っていて、PC 9821 Cx/S2を使って実際にインターネットにアクセスをしていました。自然科学に興味があるというその児童は気象衛星ひまわりの画像を読み込んで日本の付近の雲の動きを見ています。操作手順にも慣れていて、英語のコメントが出ても迷うことなくボタンをクリックしています。

出口先生のお話では児童はコンピュータの操作に慣れるのも早いし、パソコン通信などのやり方をマスターするのも非常にスムーズだとのことでした。興味のあることは、少しぐらいわからなくてもどんどんやってみようという積極的な感じが伝わってきました。この調子でいくとインターネットを実際の授業で活用し始める日も間近なことでしょう。

**※ホームページとは個人から情報を発信するための掲示板のようなもの**